
Dear Mr.サンタクロース

フニ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Dear Mr・サンタクロース

【NZコード】

N4228D

【作者名】

フニ

【あらすじ】

サンタクロースのお話。語り継がれていく理由。

何百年か前の話

年の暮れに一番近い月の24日の夜に、世界中の子供たちにプレゼントを届けてまわる初老のお爺様がいた。

後にサンタクロースと呼ばれるようになる彼は、自らが天に召すまで毎年それを続けるつもりでいた。

子供の喜ぶ姿を見るのが彼の生きがいでもあった。同時に子供達にとつても彼は希望を与えてくれる英雄のような存在だった。

しかし、彼の命の猶予は子供達が大人になると同じくらいに尽きました。

常に笑顔だった彼は、死してなお、笑顔に見えた。喜びに満ち溢れていた。

彼がしたことに、何一つ間違いはなかつた。

プレゼントを貰い続けていた子供達は、大人になり、そして、プレゼントにかけられた魔法に気付いた。

サンタクロースからのメッセージだった。

そのメッセージを受け取った昔子供だった大人は年の暮れに一番近い月の24日の夜、自分達が大切に思う子供にプレゼントを届け

た。

もちろん、魔法をかけて。

昔子供だった大人は24日の夜サンタクロースになる。

そして、子供は大人になりプレゼントの魔法に気付く。

サンタクロースは時を越えて子供たちに愛される存在になった。

サンタクロースの喜び、それは、子供たちの純粋な喜びであった。

魔法の正体もまた昔子供だった大人自身にあつたはずの純粋な喜び。

大人は慈愛を子供は喜びを忘れない。

サンタクロースは語り継がれていく。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4228d/>

Dear Mr.サンタクロース

2010年12月17日15時17分発行